

第 34 回光が丘第八保育園民間委託化対策協議会
平成 18 年 6 月 17 日(土) 光が丘図書館

協議会検討事項記録

議題 1 職員配置について 2 ビジョンの改善策 3 区の対応策 4 アンケート結果

1 職員配置について

- (区側) 事務長を含め、現状 63 名の配置で直営時より多く配置されている。
- (事業者側) 短時間保育者を多く配置して、常勤としては 29 名のままだが、早番、遅番の状況を見直した。
- (事業者側) 散歩が少ない等の指摘があったが、最近は増えている。0 歳は配置の見直しをした。1～5 歳までの保護者会を行い、意見・要望をまとめている。なお、0 歳は園長不在時なので個人面談を行う予定。プールについては指導員導入を検討している。
- (保護者側) 今後も連絡を密にしてやっていただきたい。また、プロポーザルの「しぼり」の話があったが具体的に何かあるか。
- (事業者側) 5 歳児保育士、0 歳児フリー保育士などは基準からずらした方がよい。
- (保護者側) プロポーザルの職員配置は区と園長に白紙委任する。ただし、年度ごと、園長交代ごと、保護者からの提案があった場合の 3 点を協議会で議論する条件としたい。
- (区側) 責任をもってこの提案を受けたい。
- (事業者側) 基本的なプロポーザル内容は守るが、ある部分において変更を考えている。大きな変更は考えていない。
- (保護者側) 担任とフリーについて責任の違いは何か。
- (事業者側) フリーは担任のひとりであるが、補助的な担い手という意味である。担任が休んだとき、一保育士として働く。
- (保護者側) 職員の雇用契約について継続雇用を考えているか。
- (事業者側) 契約上一年とあるが継続を前提として雇用している。
- (保護者側) 事務室に常駐する本部職員が変わるのであれば連絡してもらいたい。
- (事業者側) 支援担当の常駐を必要とする状況はかなり改善されたと考えている。事務長が常駐する。
- (保護者側) 職員配置のお知らせは今後も出る予定はあるか。
- (事業者側) 役員に関しては、落ち着いたので名簿作成も時期としてはいいと考えている。

2 ビジョンの改善策について

- (区側) 5 月 12 日付け改善策は原因究明を経て、具体策の提示があり、一定の評価をしている。
- (保護者側) 区は改善策を求め、改善されたとの認識か。
- (区側) 6 月 3 日の段階では検証を経て、全てが改善に至ってないところである。
- (保護者側) 改善過程の期間はどの位を考えているのか。
- (区側) 6 月～9 月で一定の目途がたつものと考えている。
- (保護者側) 改善策は不十分である。たとえば保護者との信頼関係を築く対応策について、情報公開がなされていない。アレルギー対応、ミルク、ビニールテープの件について保護者への連絡がないのはなぜか。
- (区側) 当該保護者への対応はなされたと認識している。今後、保護者への連絡について行っていきたい。

- (保護者側) 4月まで溯って事故等の報告をお願いしたい。
- (事業者側) 事例の全てを報告するのは不可能である。
- (保護者側) 特に命に関わる事例については報告をして、認識の違いがないようにしてほしい。
- (保護者側) 改善策の原因究明についてはまだ不十分だと思うが、その対応を生かせるのは光八においてではない。ピジョンの改善対応を財産とし、今後の運営にあたってもらいたい。この件はここで締めたい。
- (事業者側) 保護者からのお話を肝に銘じて対応していきたい。
- (保護者側) 園内研修について(巡回指導)聞きたい。
- (事業者側) 元区立保育園園長で大学講師をやっている方を講師に招いて、6月から毎週一回行っている。クラスの保護者会でこの旨を連絡している。
- (保護者側) 職員配置について採用方法を改善したというが、具体的にどんな方法か。
- (事業者側) ひとつひとつ丁寧に体制作りを支援させていただいた。
- (保護者側) 採用に関してはこれまでの経過を踏まえ、体制に見合った採用をお願いしたい。厚生面の改善点などを教えてもらいたい。(通勤面での優遇等)
- (事業者側) 本部マネジメント体制、現場園長の力量不足によって、職員への連絡がなされなかった。
- (区側) 職場環境の向上を今後も図ってもらいたい。
- (保護者側) ピジョンの改善策には失望したが、区の改善策に期待したい。

3 区の対応策について(フォロー終了後の)

- (区側) 6月以降フォロー職員を引き上げた。今後も定期的に運営状況の検証を行っていく。要請のあるものは積極的に対応していきたい。
- (保護者側) 光八の保育の質が維持できているとは考えていない。にもかかわらず保育課は通常の業務を超えていない。
- (区側) 組織的な対応として支援調整係を設置した。人材の紹介など、より強い支援を考えている。
- (保護者側) これは対応策とは思えない。
- (区側) フォロー終了後の検証で不十分な点について、どのような対応ができるかである。
- (保護者側) この対応は日常業務ではないか。区としての具体的な対応は示せないのか。
- (区側) 質の低下への対応策として手は打ってきている。日常の積み重ねによって保育がなされている。その中で一步一步改善に向かっていくところである。
- (保護者側) 子どもを預けている親への担保がなされていない。どうするのか。
- (区側) 一日も早くもとの状態に戻し、対応していく。
- (保護者側) 「質を下限以上にさせる」、「期間の担保を示す」、これらを出さなければいけないのではないか。
- (区側) 日々の積み重ねが保育であり、どちらも出すことはできない。
- (保護者側) 休日保育を停止することはできるか(休日、一時保育は凍結してほしい)
- (事業者側) 利用状況によれば、通常の保育に負担はない。
- (区側) 通常保育に影響のないように進めていきたい。凍結は考えていない。
- (保護者側) 運営状況の検証は、定期的となっているところを週一回提示で行うように改めて欲しい。
 - ・転園について配慮してほしい。
 - ・子どものメンタルケアについて示してほしい。
- (区側) 子育て相談として示していきたい。転園についてはきびしいとの認識である。

以上

次回日程 協議会は連絡調整する。 7月29日頃か